



札幌医科大学医学部附属病院

麻酔科専門医研修プログラム

～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

Anesthesiology

SINCE 1957

麻酔科専門医研修プログラム名	札幌医科大学医学部附属病院麻酔科専門医研修プログラム	
プログラム責任者	札幌医科大学医学部麻酔科学講座教授 山陰道明	
研修プログラム病院群	責任基幹施設  基幹研修施設 (12施設)	<p>札幌医科大学附属病院</p> <p>(札幌市内研修施設) 道立子ども総合医療・療育センター NTT東日本札幌病院 JR札幌病院 札幌東徳洲会病院</p> 
	関連研修施設 (13施設)	<p>(札幌市内研修施設) 北海道医療センター 札幌南三条病院 中村記念病院 羊ヶ丘病院</p> 
プログラムの概要と特徴	<p>本プログラム病院群では、年間約5万件の麻酔科管理手術が行われています。 手術麻酔だけではなく、救急医療、集中治療、ペインクリニック、緩和医療に従事する多数の指導医（63名）専門医（30名）のもと、麻酔科学、急性期医療、疼痛管理を研修することができます。 <b>周術期、急性期医療を担う真のプロフェッショナルを目指すプログラムです。</b></p>	
プログラムの運営方針	<p>麻酔科専門医取得のために必要な症例数を2年以内に経験することを第一段階の目標とします。必要数をクリアした専攻医は、手術麻酔の経験を深めていく他、救急・集中治療、ペインクリニック、緩和医療などのサブスペシャリティーを指向した研修を選択し、<b>プロとしての知識、人間性、技術を併せ持つ麻酔科医を目指していきます。</b></p>	
連絡先	<p>〒札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学医学部麻酔科学講座 TEL: 011-611-2111(3568), FAX: 011-631-9683 担当: 平田直之 (naohirata@mac.com)</p>	



# 札幌医科大学医学部附属病院 麻酔科専門医研修プログラム

## ～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



### 1. プログラムの概要

基幹責任施設である札幌医科大学附属病院、基幹研修施設である北海道内12病院、関連研修施設である13病院において、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する。

### 2. プログラムの特徴

- 2014年度、所属する**麻酔科指導医数63名、専門医数30名**である。
- 本プログラム病院群は、2013年度において**50,621件**の麻酔科管理症例を有する。
- 専門医申請必要症例数については**小児麻酔（866件）, 帝王切開術の麻酔（588件）, 心臓血管麻酔（585件）, 胸部外科手術（767件）, 脳神経外科（1,054件）**である。
- 2013年度実績（上記）に基づいて算出された**専攻医受け入れ可能数は30名**である。
- 専攻医は必要症例数を経験した後、専攻医の意向に添って救急・集中治療、ペインクリニック、緩和医療での研修も選択できる。

### 3. プログラムの運営方針

- 4年間の研修における前半2年間のうち1年間は責任基幹施設で研修を行う。
- 基幹研修施設または関連研修施設において最低1年間は研修を行う。
- 研修内容・進行状況に配慮してプログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。

「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」





## 札幌医科大学附属病院（責任基幹施設）

プログラム責任者：山蔭道明（札幌医科大学医学部麻酔科学講座 教授）

## 麻醉指導医（15名）

## 麻醉専門医（10名）

山蔭道明	(麻酔, ペインクリニック)	杉目史行	(麻酔, ペインクリニック)
升田好樹	(麻酔, 集中治療)	早瀬 知	(麻酔, 神経麻酔)
渡邊昭彦	(麻酔, 緩和医療)	川口亮一	(麻酔, 心臓麻酔)
枝長充隆	(麻酔, 教室長)	澤田敦史	(麻酔, 心臓麻酔)
新山幸俊	(麻酔, 手術室副部長)	君島知彦	(麻酔, 集中治療)
新谷知久	(麻酔, 病棟医長)	室内健志	(麻酔, 神経ブロック)
岩崎創史	(麻酔, 外来医長)	高橋和伸	(麻酔, 神経生理)
平田直之	(麻酔, 教育主任)	高田幸昌	(麻酔, DAM)
時永泰行	(麻酔, 研究室長)	吉川裕介	(麻酔, 心臓麻酔)
木村慶信	(麻酔, ICD)	丸山大介	(麻酔, 心臓麻酔)
関根利佳	(麻酔, ペインクリニック)		
木村さおり	(麻酔)		
宮下 龍	(麻酔, 集中治療)		
佐々木英昭	(麻酔, 集中治療)		
水口亜紀	(麻酔, 産科麻酔)		

## 麻酔認定病院番号：5

## 麻酔科管理症例：6,193症例

医学生・初期研修医の皆さんへ

必要症例	症例数	本プログラム 症例数
小児（6歳未満）の麻酔	312症例	250症例
帝王切開術の麻酔	160症例	120症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	139症例	100症例
胸部外科手術の麻酔	212症例	180症例
脳神経外科手術の麻酔	143症例	120症例

麻酔科医としての良いプライドを持ち、患者・他の医療者に謙虚に接し、目の前で困っている人を助けよう。医療を提供することでもいい、研究し医学を発展させることでもいい。そして後輩を指導することでもいい。その全てが地域に住む患者さん、その家族の幸せに繋がると信じて努力しよう。のために僕らはいる。  
(HPより抜粋)

山蔭道明

「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」





### 帯広厚生病院（関連研修施設）

プログラム責任者：一瀬廣道（帯広厚生病院副院長）

#### 麻酔指導医（4名）

一瀬廣道（副院長）	黒田浩光（麻酔科医長）
山本修司（主任部長）	川岸俊也（麻酔科医長）



麻酔認定病院番号：224

麻酔科管理症例：4,534症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	287症例	150症例
帝王切開術の麻酔	249症例	120症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	74症例	40症例
胸部外科手術の麻酔	161症例	80症例
脳神経外科手術の麻酔	234症例	120症例

#### （帯広厚生病院の特色）

帯広厚生病院は、ベッド数748床、診療科数20、医師数141名の地域中核病院です。十勝地域唯一の救命救急センターが併設されており、地域救急医療においても中心的な役割を担っています。



### 旭川赤十字病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：住田臣造（旭川赤十字病院副院長）

#### 麻酔指導医（4名）

#### 麻酔専門医（2名）

住田臣造（副院長）	大沼幸代（麻酔）
南波仁（麻酔科部長）	大曾根順平（救急科副部長）
小林巖（救急科部長）	
四十物摩呼（麻酔科部長）	



麻酔認定病院番号：176

麻酔科管理症例：3,107症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	56症例	34症例
帝王切開術の麻酔	12症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	62症例	50症例
胸部外科手術の麻酔	73症例	51症例
脳神経外科手術の麻酔	453症例	300症例

#### （旭川赤十字病院の特色）

旭川赤十字病院では、手術内外における周術期管理の他、救命救急センターにおける救急医療、ドクターヘリ、集中治療業務を麻酔科医が担当し、道北地区の救急医療を担っています。





## 市立釧路総合病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：其田 一（市立釧路総合病院副院長）

麻酔指導医（3名）

麻酔専門医（2名）

其田 一（副院長）	本間広則（麻酔科医長）
北 飛鳥（部長）	清水恵子（麻酔科医長）
四釜裕睦（部長）	



麻酔認定病院番号：95

麻酔科管理症例：1,936症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	78症例	50症例
帝王切開術の麻酔	117症例	80症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	99症例	70症例
胸部外科手術の麻酔	58症例	50症例
脳神経外科手術の麻酔	64症例	30症例

（市立釧路総合病院の特色）

市立釧路総合病院は釧路・根室地域唯一の急性期基幹病院であり救命救急センターをはじめ、がん拠点病院、エイズ拠点病院、災害拠点病院等の指定を受けており、地域医療の要となっています。その中で麻酔科は6名の常勤麻酔科医と1名の嘱託医の計7名で手術室での手術麻酔、ER、ICUで救急集中医療を担当し、臨床研修医の救急部門の研修も担当しています。

## 北見赤十字病院（関連研修施設）

プログラム責任者：荒川穰二（旭川赤十字病院副院長）

麻酔指導医（2名）

荒川穰二（副院長）	佐藤順一（救急科副部長）
-----------	--------------

麻酔認定病院番号：362

麻酔科管理症例：2,396症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	69症例	12例
帝王切開術の麻酔	108症例	18例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	0症例	0例
胸部外科手術の麻酔	82症例	16例
脳神経外科手術の麻酔	74症例	14例

（北見赤十字病院の特色）

当院は、オホーツク地域の基幹病院として、地方センター病院、救命救急センター等の役割を担っている急性期病院です。「人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます。」の理念の基、職員が一丸となってオホーツク地域の医療を支えています。





## NTT東日本札幌病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：山澤 弦（麻酔科部長）

麻酔指導医（2名）

麻酔科専門医（3名）

山澤 弦（麻酔科部長）  
御村光子（ペインセンター長）

橋 信子  
浦濱 聰  
宮本菜穂子

**麻酔認定病院番号：844****麻酔科管理症例：2,392症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	37症例	20症例
帝王切開術の麻酔	110症例	50症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	69症例	30症例
胸部外科手術の麻酔	27症例	15症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

(NTT東日本札幌病院の特色)

北海道ではトップクラスの症例数を誇るペインクリニック認定施設です。  
臨床麻酔は脳外科以外の全ての科で年間2500例程度行っています。



## 市立旭川病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：一宮尚裕（市立旭川病院麻酔科診療科長）

麻酔指導医（3名）

一宮尚裕（麻酔科部長）  
飛世史則（麻酔科医長）  
山岸昭夫（麻酔科医長）

**麻酔認定病院番号：272****麻酔科管理症例：2,193症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	31症例	5症例
帝王切開術の麻酔	20症例	5症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	129症例	50症例
胸部外科手術の麻酔	46症例	20症例
脳神経外科手術の麻酔	0症例	0症例

(市立旭川病院の特色)

ICU認定病院、救急治療認定病院、集中治療認定病院、ペインクリニック認定病院 循環器疾患がメインの病院、定期心臓手術は毎日行っている。





## 市立函館病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：辻口直紀（麻酔科部長）

麻酔指導医（4名）

麻酔科専門医（1名）

辻口直紀	（麻酔科部長）
山崎 裕	（緩和ケア科長）
土屋滋雄	（主任医長）
大沼 淳	（主任医長）

田中清高	（麻酔科医長）
------	---------

**麻酔認定病院番号：74**

**麻酔科管理症例：2,234症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
------	-----	---------

小児（6歳未満）の麻酔	22症例	10症例
-------------	------	------

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	102症例	40症例
---------------------------	-------	------

胸部外科手術の麻酔	96症例	30症例
-----------	------	------

脳神経外科手術の麻酔	48症例	20症例
------------	------	------

（市立函館病院の特色）

市立函館病院は、万延元年（1860年）「箱館医学所」として創立し、北海道初の官立病院として発足以来、今年（2010年）で150年になります。麻酔科は道南地区の急性期医療を担っています。



## 王子総合病院（関連研修施設）

プログラム責任者：田中 悟（麻酔科主任科長）

麻酔指導医（2名）

田中 悟	（麻酔科主任科長）
渡辺政徳	（麻酔科科長）



**麻酔認定病院番号：663**

**麻酔科管理症例：2,436症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
------	-----	---------

小児（6歳未満）の麻酔	30症例	20症例
-------------	------	------

帝王切開術の麻酔	83症例	50症例
----------	------	------

心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	91症例	80症例
---------------------------	------	------

胸部外科手術の麻酔	83症例	70症例
-----------	------	------

脳神経外科手術の麻酔	26症例	20症例
------------	------	------

（王子総合病院の特色）

麻酔科は現在5名体制であり、手術麻酔を中心にペインクリニック、救急・心肺蘇生、ICU管理、災害対応と業務は多岐に渡っています。手術麻酔症例数は約2,400件で、うち心臓血管麻酔は約190例あり開心術の麻酔研修や経食道心エコーの習得には事欠きません。





### 日鋼記念病院（関連研修施設）

プログラム責任者：鎌田康宏（麻酔科主任科長）

麻酔指導医（1名）

麻酔科専門医（1名）

鎌田康宏（麻酔科主任科長）

渋川圭介（麻酔科医長）

**麻酔認定病院番号：239**  
**麻酔科管理症例：2,241症例**



（日鋼記念病院の特色）

北海道の広大な医療圏の一つの西胆振地域にある日鋼記念病院は、高度専門医療の提供と地域医療機関との連携による質の高い医療環境づくりを目指して日々取り組んでおります。



必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	126症例	60症例
帝王切開術の麻酔	103症例	50症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	11症例	10症例
胸部外科手術の麻酔	47症例	30症例

### JR札幌病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：清水 斎（副院長）

麻酔指導医（2名）

麻酔専門医（2名）

清水 斎（副院長）

幸高眞佐理（科長）

村上真一（主任医長）

山口こずえ（主任医長）

**麻酔認定病院番号：171**

**麻酔科管理症例：1,950症例**



（JR札幌病院の特色）

JR札幌病院は、札幌市の中心、札幌駅から徒歩10分に位置し、近隣には、大通公園、時計台、すすきのなどの観光名所があります。病院の歴史は古く、1915年札幌鉄道病院として開設され、以来90年にわたり当地での医療を担ってきました。現在の病院は、2009年に新築した建物で、名称もJR札幌病院に改名しました。病床数312床、19診療科、医師数51名の急性期型病院として充実した診療を行っています。



必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	35症例	10症例
胸部外科手術の麻酔	62症例	20症例



**市立室蘭総合病院（関連研修施設）**  
**プログラム責任者：下館勇樹（麻酔科主任科長）**

麻酔指導医（2名）

下館勇樹（麻酔科部長）

西川幸喜（麻酔科集中治療部担当）



**麻酔認定病院番号：188**  
**麻酔科管理症例：1,936症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	6症例	0症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	31症例	20症例
胸部外科手術の麻酔	26症例	15症例
脳神経外科手術の麻酔	117症例	60症例

（市立室蘭総合病院の特色）

高度に手術が進歩した現在もなお、手術中の「命の番人」として麻酔科は重要な役割を果たしています。なぜならば、たとえ病気を治療するための手術でも、患者さんの身体にとっては大きな痛みを伴う刺激・ストレスであり、そのストレスから患者さんを守ることが麻酔科医の役目だからです。当院は日本麻酔科学会による「麻酔科認定病院」です。専門医を含む麻酔科医4名が年間2000件を超える手術の麻酔を管理している他、ICUでは各科の医師と協力しながら重篤な患者さんの治療にあたっています。



**札幌東徳洲会病院（基幹研修施設）**  
**プログラム責任者：鳥谷部政樹（麻酔科部長）**

麻酔指導医（3名）

鳥谷部政樹（麻酔科部長）  
須佐 泰之（麻酔科部長）  
三澤 学（麻酔科部長）



**麻酔認定病院番号：741**  
**麻酔科管理症例：1,818症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	18症例	10症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	126症例	60症例
胸部外科手術の麻酔	7症例	5症例
脳神経外科手術の麻酔	90症例	50症例

（札幌東徳洲会病院の特色）

心臓血管手術症例、緊急救手症例が多いのが特徴です。東徳洲会病院で初期研修を行った医師が、数多く札幌医大麻酔科で後期研修を継続し専門医を取得しています。





### 帯広協会病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：佐藤 紀（麻酔科主任科長）

麻酔指導医（1名）

麻酔科専門医（2名）

佐藤 紀（麻酔科主任部長）

菊地智春（麻酔科部長）

吉田 司（麻酔科医師）

**麻酔認定病院番号：892**

**麻酔科管理症例：1,775症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	150症例	50症例
帝王切開術の麻酔	80症例	20症例
脳神経外科手術の麻酔	1症例	0症例

（帯広協会病院の特色）

当院はベッド数360床、診療科数15、医師数41名の二次救急担当病院です。臨床麻酔を中心にペインクリニック、緩和医療を担っており、麻酔科担当手術件数は1800件で、そのうち500件が臨時手術です。当院では外科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・眼科・形成外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科の0歳～100歳超の患者さんの手術を経験することができます。救急医療は病院全体で分担しているため、麻酔科は麻酔業務のみに専念しています。



### 江別市立病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：鹿角雅治（主任部長）

麻酔指導医（1名）

麻酔専門医（1名）

鹿角雅治（麻酔科主任部長）

長井 洋（麻酔科部長）

**麻酔認定病院番号：410**

**麻酔科管理症例：1,207症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	18症例	10症例
帝王切開手術の麻酔	56症例	30症例
胸部外科手術の麻酔	2症例	2症例

（江別市立病院の特色）

札幌市に近い。麻酔業務とペインクリニック業務を分離しています。江別市内では唯一、緊急帝王切開術をおこなっています。また、無痛分娩にも対応しております。ペインクリニック部門では線維筋痛症などの難治性慢性疼痛患者の治療もおこなっています。病院の特徴としては総合内科が充実しており、全道各地の病院から見学や研修医が集まっています。





### 市立小樽病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：久米田幸弘（副院長）

麻酔指導医（1名）

麻酔科専門医（1名）

久米田幸弘（副院長）

高桑一登（麻酔科医長）



麻酔認定病院番号：144

麻酔科管理症例：1,203症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	17症例	5症例



（市立小樽病院の特色）

市立小樽病院の麻酔科では、以下の3つの診療を中心に行ってています。①すべての手術や麻酔が安全に遂行できるように、術前から術後まで麻酔科医が積極的に関与して周術期管理を行っています。②小樽市内では唯一の集中治療室を有し、麻酔科医を中心となって重症救急疾患の対応にあたっています。③痛みの外来（ペインクリニック）を開設し帯状疱疹や腰下肢痛など様々な痛みの治療を行っています。また癌の痛みに対しても積極的に取り組んでいます

### 滝川市立病院（基幹研修施設）

プログラム責任者：井上 光（診療部長）

麻酔指導医（2名）

井上 光（麻酔科診療部長）

岡崎加代子（主任医長）



麻酔認定病院番号：414

麻酔科管理症例：1,161症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	12症例	10症例

（滝川市立病院の特色）

手術麻酔・救急外来・ICU・ペイン外来とすべての分野を麻酔科全員で担当しています。医局は総合医局で他科の医師とのコミュニケーションを取りやすく明るい雰囲気です。





## 岩見沢市立総合病院（関連研修施設）

プログラム責任者：本間康之（麻酔科診療部長）

麻酔指導医（2名）

本間康之（麻酔科診療部長）

伊藤徹雄（麻酔科医長）



**麻酔認定病院番号：328**  
**麻酔科管理症例：831症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	15症例	10症例
帝王切開術の麻酔	42症例	10症例
胸部外科手術の麻酔	34症例	30症例
脳神経外科の麻酔	31症例	30症例

（岩見沢市立総合病院の特色）

常勤麻酔科医2名で、手術麻酔が中心です。麻酔科依頼の手術は、外科・整形外科・産婦人科・泌尿器科・脳神経外科・眼科より受けています。手術室は6室で、年間1000例近くの手術に携わっています。外来では手術を受ける方の術前診察を行っています。その他、帯状疱疹後神経痛の患者さんも診察しています。



## 俱知安厚生病院（関連研修施設）

プログラム責任者：小塚雄史（診療部長）

麻酔指導医（1名）

麻酔専門医（2名）

田辺水緒子（麻酔科）

小塚雄史（診療部長）

萩原 隆（麻酔科）

**麻酔認定病院番号：1324**

**麻酔科管理症例：614症例**

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	3症例	0症例
帝王切開術の麻酔	30症例	20症例

（俱知安厚生病院の特色）

手術麻酔；  
麻酔科が担当する科は整形外科、外科、泌尿器科、産婦人科です。  
ペインクリニック；  
ペインクリニックでは、帯状疱疹の痛み、帯状疱疹後も持続する痛み、腰下肢の痛み、上肢や肩・頸部の痛みなどに対し各種神経ブロック、局所注射などの治療を行っています。また、必要に応じハリ治療、偏光近赤外線やレーザー照射などの物理療法も行っています。





## 深川市立病院（関連研修施設）

プログラム責任者：大谷内真弓（麻酔科診療部長）

麻酔専門医（1名）

大谷内真弓（麻酔科部長）

麻酔認定病院番号：1323  
麻酔科管理症例：541症例

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	3症例	0症例
帝王切開術の麻酔	12症例	5症例
胸部外科手術の麻酔	6症例	3症例
脳神経外科の麻酔	11症例	5症例



（深川市立病院の特色）

深川市立病院は北空知二次医療圏唯一の二次救急医療機関です。札幌市とほぼ同じ面積に3万5千人が生活し、高齢者率は道内トップの36%を誇り、振りかごから墓場までほぼすべての救急搬送は当院に速やかに搬入されます。手術件数は五百数十件と例年通りですが、患者さんの平均年齢は上昇し続けており、合併症のマネジメントなどタフな症例が増えております。

緩和ケアチームは満5年を超える現在がん診療準拠点病院の指定を受けるべくがん相談室の設置、がんサロンの開催など準備中です。「（自宅に）帰れる緩和、（地域や多業種と）つながる緩和」をチームの旗印に、より地域連携を深め、症状緩和のレベルアップを図る所存です。





## 北海道立子ども総合医療・療育センター（基幹研修施設）

プログラム責任者：名和由布子（麻酔科医長）

麻酔指導医（1名）

名和由布子（麻酔科医長）

**麻酔認定病院番号：173**  
**麻酔科管理症例：983症例**



（子ども総合医療・療育センターの特色）

北海道で唯一の小児専門病院で、外科系、内科系の診療科からなる医療部門とリハビリ中心の療育部部門からなっています。麻酔科は安全で不安や痛みが少なく検査や手術をうけられる体制を整えております。集中治療室では心臓手術や脳神経外科手術の術後管理、感染症や脳炎・脳症も受け入れています

必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	456症例	150症例
帝王切開術の麻酔	11症例	0症例
心臓血管外科の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	91症例	30症例
脳神経外科の麻酔	80症例	30症例



## 中村記念病院（関連研修施設）

プログラム責任者：古瀬晋吾（診療部長）

麻酔指導医（1名）

古瀬晋吾（麻酔科）

**麻酔認定病院番号：1485**  
**麻酔科管理症例：680症例**



（中村記念病院の特色）

中村記念病院は、24時間救急医療体制を堅持しており、札幌市の一次・二次救急指定病院として、市内はもとより近隣市町村からの救急医療に貢献しています。当院の特色は、病院全体が脳神経疾患に特化していることです。脳血管障害（クモ膜下出血、脳内出血、脳梗塞）、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄・脊椎疾患、てんかん、パーキンソン病、痴呆、末梢神経疾患などそれぞれの分野のエキスパートが対応しています。照射などの物理療法も行っています。

必要症例	症例数	本プログラム分
脳神経外科の麻酔	550症例	250症例





## 札幌南三条病院（関連研修施設）

プログラム責任者：中山禎人（麻酔科部長）

麻酔指導医（1名）

中山禎人（麻酔科部長）

**麻酔認定病院番号：1141**  
**麻酔科管理症例：388症例**



必要症例

症例数

本プログ  
ラム分

胸部外科手術の麻酔

388症例

150症例



（札幌南三条病院の特色）

札幌南三条病院麻酔科では、肺や胸部の手術で必要になる、「分離肺換気」という難しい手技を伴う全身麻酔を、年間400例近く行っています。肺がん手術の症例数は道内1位、全国でも20位以内ですので、肺手術の麻酔管理についてはエキスパートの養成が可能と思います。

## 北海道医療センター・救命救急センター（関連研修施設）

プログラム責任者：七戸康夫（診療部長）

麻酔指導医（2名）

麻酔専門医

七戸康夫（救命救急部長）

吉田真一郎（救急科医師）

畠 光司（ICU室長）

**麻酔認定病院番号：1229****麻酔科管理症例：1898症例**

（北海道医療センター・救命救急センターの特色）

当施設は札幌市に4か所のみ設置されている救命救急センターであり、5名の救急医（専従）が札幌西地区の救命救急を支えている。年間200例超のCPAを含む、重症外傷、急性中毒、重症感染症、ショック、急性呼吸不全、脳卒中、急性心筋梗塞、意識障害、肝不全、腎不全、急性腹症、環境障害（熱中症・低体温症など）などの3次救急を中心とした2200例の救急搬送事案に対して、ERにおける救急初療からcritical careまでをシームレスに行っている。また、地域災害医療センター（災害拠点病院）であり、2名の統括DMATを含むDMATチームを2チーム擁しており、災害医療では日本を中心とする国立病院機構災害医療チームの中核をなしている。

必要症例

症例数

本プロ  
グラム  
分

小児（6歳未満）の麻酔

32症例

0症例

心臓血管手術の麻酔

（胸部大動脈手術を含む）

43症例

5症例

胸部外科手術の麻酔

94症例

0症例

脳神経外科の麻酔

76症例

5症例



### 羊ヶ丘病院（関連研修施設）

プログラム責任者：中山雅康（麻酔科部長）

麻酔指導医（2名）

中山雅康（麻酔科部長）  
石藤誠士（麻酔科部長）

麻酔認定病院番号：1528  
麻酔科管理症例：1,812症例



必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	5症例	0症例



（札幌南三条病院の特色）

羊ヶ丘病院は整形外科の専門病院で、各部位ごとにエキスパートによる質の高い医療を提供しています。年間2000件を超える手術に対して、麻酔も高い安全性と質の維持を目指しており、患者様が手術中や手術後を快適に送っていただけるように努めています。

### 我汝会えにわ病院（関連研修施設）

プログラム責任者：田中博文（副院長）

麻酔専門医（2名）

田中博文（副院長）  
栗原将人（専門医）

麻酔認定病院番号：1221  
麻酔科管理症例：2,139症例



必要症例	症例数	本プログラム分
小児（6歳未満）の麻酔	2症例	0症例



（我汝会えにわ会の特色）

えにわ病院はいろいろな面で特殊な病院と言えます。まずは整形外科と循環器内科、一般内科、そして麻酔科だけの病院であること、整形外科の医師数と手術件数の多さがわが国で有数であること、全国のさまざまな大学病院から研修のために勤務する整形外科医が多いこと、国内外から短期見学に訪れる整形外科医が居るなどです。

えにわ病院では整形外科医のみならず、麻酔科医、手術室看護師、理学療法士や作業療法士、放射線技師を含めた手術前の検討会、手術後の検討会が毎週行われています。



札幌医科大学医学部附属病院  
麻酔科専門医研修プログラム  
～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



本プログラムにおける前年度(2013年度) 症例合計

必要症例	症例数
小児（6歳未満）の麻酔	866症例
帝王切開術の麻酔	588症例
心臓血管手術の麻酔 (胸部大動脈手術を含む)	585症例
胸部外科手術の麻酔	767症例
脳神経外科手術の麻酔	1,054症例

4. 募集定員： 30名

5. プログラム責任者 問い合わせ先

(プログラム責任者) 札幌医科大学医学部麻酔科学講座 教授 山蔭道明

(問い合わせ先) 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目札幌医科大学医学部麻酔科学講座  
研修担当 平田直之

(電話) 011-611-2111 (内線 3568)

「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」



札幌医科大学医学部麻酔科学講座

Department of Anesthesiology,

Sapporo Medical University School of Medicine



札幌医科大学医学部附属病院  
麻酔科専門医研修プログラム  
～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



## 本プログラムの研修カリキュラム到達目標

### ① 一般目標

安全かつ安心な周術期医療を提供し国民のニーズに応えることのできる麻酔科及びその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を習得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技術
- 2) 刻々と変化する臨床現場における適切な判断能力と問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮できる適切な程度と習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を学び、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

### ② 個別目標

#### 目標1 基本知識

麻酔科診療に必要な下記知識を習得し、臨床応用できる。具体的には公益法人日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイドラインに準拠する。

##### 1) 総論

- a) 麻酔科医の役割と社会的な意義、医学や麻酔の歴史について理解している。
- b) 麻酔の安全と質の向上：麻酔の安全と質の向上：麻酔の合併症発生率、リスクの種類、安全指針、医療の質向上に向けた活動などについて理解している。手術室の安全管理、環境整備について理解し、実践できる。

##### 2) 生理学

以下の臓器の生理・病態生理、機能、評価・検査、麻酔の影響などについて理解している。

; 自律神経系、中枢神経系、神経筋接合部、呼吸、循環、肝臓、腎臓、酸塩基平衡、電解質、栄養など

##### 3) 薬理学

薬力学、薬物動態を理解している。特に下記の麻酔関連薬物について作用機序、代謝、臨床上の効用と影響について理解している。

; 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、オピオイド、筋弛緩薬、局所麻酔薬

「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」





# 札幌医科大学医学部附属病院 麻酔科専門医研修プログラム ～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



## 4) 麻酔管理総論

麻酔に必要な知識を持ち、実践できる

- a) 術前評価：麻酔のリスクを増す患者因子の評価、術前に必要な検査、術前に行うべき合併症対策について理解している。
- b) 麻酔器、モニター：麻酔器・麻酔回路の構造、点検方法、トラブルシューティング、モニター機器の原理、適応、モニターによる生体機能の評価、について理解し、実践ができる
- c) 気道管理：気道の解剖、評価、様々な気道管理の方法、困難症例への対応などを理解し、実践できる。
- d) 輸液・輸血療法：種類、適応、保存、合併症、緊急時対応について理解し、実践ができる
- e) 脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔：適応、禁忌、関連する部所の解剖、手順、作用機序、合併症について理解し、実践ができる
- f) 神経ブロック：適応、禁忌、関連する部所の解剖、手順、作用機序、合併症について理解し、実践ができる。

## 5) 麻酔管理各論

下記の様々な科の手術に対する麻酔方法について、それぞれの特性と留意すべきことを理解し、実践ができる。

；腹部外科、腹腔鏡下手術、胸部外科、成人心臓手術、血管外科、小児外科、小児心臓外科、高齢者の手術、脳神経外科、整形外科、外傷患者、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、レーザー手術、口腔外科、臓器移植、手術室以外での麻酔

## 6) 術後管理

術後回復とその評価、術後の合併症とその対応に関して理解し、実践できる。

## 7) 集中治療

成人・小児の集中治療を要する疾患の診断と集中治療について理解し、実践できる。

## 8) 救急医療

救急医療の代表的な病態とその評価、治療について理解し、実践できる。それぞれの患者にあった蘇生法を理解し、実践できる。AHA-ACLS、またはAHA-PALSプロバイダーコースを受講し、プロバイダーカードを取得している。

## 9) ペインクリニック

周術期の急性痛・慢性痛の機序、治療について理解し、実践できる。安全で質の高い麻酔科医の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」





# 札幌医科大学医学部附属病院

## 麻酔科専門医研修プログラム

### ～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



#### 目標2 診療技術

麻酔科診療に必要な下記基本手技に習熟し、臨床応用できる。具体的には日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の基本手技ガイドラインに準拠する。

- 1) 基本手技ガイドラインにある下記のそれぞれの基本手技について、定められたコース目標に到達している。

血管確保・血液採取、気道管理、モニタリング、治療手技、心肺蘇生法、麻酔器点検および使用、脊髄くも膜下麻酔、鎮痛法および鎮静薬、感染予防

#### 目標3 マネジメント

麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで、患者の命を助けることができる。

- 1) 周術期などの予期せぬ緊急事象に対して、適切に対処できる技術、判断能力を持っている。
- 2) 医療チームのリーダーとして、他科の医師、他職種を巻き込み、統率力をもって、周術期の刻々と変化する事象に対応をすることができる。

#### 目標4 医療倫理、医療安全

医師として診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。医療安全についての理解を深める。

- 1) 指導担当する医師とともにon the job training環境の中で、協調して麻酔科診療を行うことができる。
- 2) 他科の医師、コメディカルなどと協力・協働して、チーム医療を実践することができる。
- 3) 麻酔科診療において、適切な態度で患者に接し、麻酔方法や周術期合併症をわかりやすく説明し、インフォームドコンセントを得ることができる。
- 4) 初期研修医や他の医師、コメディカル、実習中の学生などに対し、適切な態度で接しながら、麻酔科診療の教育をすることができる。

「安全で質の高い麻酔科医療の提供、世界に通用する麻酔科医の育成。」





札幌医科大学医学部附属病院  
麻酔科専門医研修プログラム  
～北の大地で真のプロフェッショナルを目指す～



## 目標5 生涯教育

医療・医学の進歩に則して、生涯を通じて自己の能力を研鑽する向上心を醸成する。

- 1) 学習ガイドラインの中の麻酔における研究計画と統計学の項目に準拠して、EBM、統計、研究計画などについて理解している。
- 2) 院内のカンファレンスや抄読会、外部のセミナーやカンファレンスなどに出席し、積極的に討論に参加できる。
- 3) 学術集会や学術出版物に、症例報告や研究成果の発表をすることができる。
- 4) 臨床上の疑問に関して、指導医に尋ねることはもとより、自ら文献・資料などを用いて問題解決を行うことができる。

### ③経験目標

研修期間中に手術麻酔、集中治療、ペインの充分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え、下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。ただし、帝王切開手術、胸部外科手術、脳神経外科手術に関しては、一症例の担当医は1人、小児と心臓血管手術については一症例の担当医は2人までとする。

- ・ 小児（6歳未満）の麻酔 25症例
- ・ 帝王切開術の麻酔 10症例
- ・ 心臓血管外科の麻酔 25症例  
(胸部大動脈手術を含む)
- ・ 胸部外科手術の麻酔 25症例
- ・ 脳神経外科手術の麻酔 25症例

## 7. 各施設における到達目標と評価項目

各施設における研修カリキュラムに沿って、各参加施設において、それぞれの専攻医に対し年次毎の指導を行い、その結果を別表の到達目標評価表を用いて到達目標の達成度を評価する。

